

松本市の景気動向

— 中小企業景気動向基本調査 —

【令和5年10月】

■調査概要（データ対象期間：令和5年10月1日～10月31日）

○調査期間：令和5年10月31日～令和5年11月22日

○調査対象：市内中小企業200企業に対して郵送等によるアンケート調査

○回収状況：建設業17企業、製造業18企業、卸売業11企業、小売業21企業

飲食業14企業、サービス業40企業（運輸、不動産仲介業を含む）

<合計121企業>

○調査項目：10月の売上・仕入・営業利益・受注量・受注単価・販売(客)数・販売(客)単価

状況向こう3ヵ月の業況見通し（DI値を集計）

(注)DI(Diffusion Index)値は、売上などの各項目についての判断の状況を示す。ゼロを基準と

して、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下

向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示す

ものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

※DI=(増加・好転などの回答割合)-(減少・悪化などの回答割合)

松本市・松本商工会議所

概況

業況DIはプラス幅が拡大し、水準DIはマイナス幅が縮小した

1. 業況判断

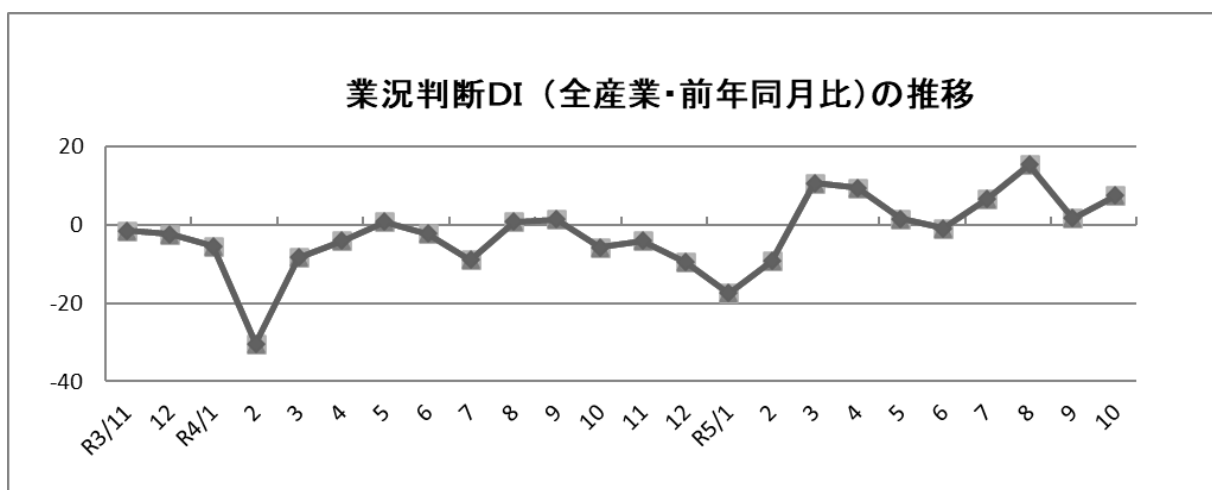
- 全産業合計の業況DI(前年同月比ベース)は、前月(1.7)より5.8ポイント上昇し、7.5となった。業種別では、サービス業はプラス幅が拡大し、飲食業はプラス幅が縮小した。製造業は0からマイナスに転じ、建設業・小売業はマイナス幅が縮小した。卸売業はマイナス幅が拡大した。
- 全産業合計の水準DIは、前月(▲6.2)より4.5ポイント上昇し、▲1.7になった。業種別では、飲食業はプラス幅が拡大し、サービス業はプラス幅が縮小した。小売業・建設業はマイナス幅が縮小し、卸売業・製造業はマイナス幅が拡大した。

業況判断DI

	業況[前年同月比]				今月の水準			
	好転%	不変%	悪化%	DI	良い%	普通%	悪い%	DI
合計	24.0 (22.8)	59.5 (56.1)	16.5 (21.1)	7.5 (1.7) ↗	19.8 (18.4)	58.7 (57.0)	21.5 (24.6)	▲1.7 (▲6.2) ↗
建設業	5.9 (0.0)	82.3 (76.5)	11.8 (23.5)	▲5.9 (▲23.5) ↗	5.9 (0.0)	82.3 (76.5)	11.8 (23.5)	▲5.9 (▲23.5) ↗
製造業	16.7 (20.0)	61.1 (60.0)	22.2 (20.0)	▲5.5 (0.0) ↘	11.1 (20.0)	61.1 (53.3)	27.8 (26.7)	▲16.7 (▲6.7) ↘
卸売業	27.3 (25.0)	36.3 (41.7)	36.4 (33.3)	▲9.1 (▲8.3) ↘	18.2 (16.7)	36.3 (50.0)	45.5 (33.3)	▲27.3 (▲16.6) ↘
小売業	14.3 (10.0)	66.7 (65.0)	19.0 (25.0)	▲4.7 (▲15.0) ↗	19.0 (10.0)	52.4 (50.0)	28.6 (40.0)	▲9.6 (▲30.0) ↗
飲食業	64.3 (71.4)	28.6 (21.5)	7.1 (7.1)	57.2 (64.3) ↘	50.0 (50.0)	42.9 (35.7)	7.1 (14.3)	42.9 (35.7) ↗
サービス業	25.0 (22.2)	62.5 (58.4)	12.5 (19.4)	12.5 (2.8) ↗	20.0 (19.4)	62.5 (63.9)	17.5 (16.7)	2.5 (2.7) ↘

()内は前月データ

※「業況[前年同月比]」…前年同月の業況との比較による回答の集計
「今月の水準」…事業主の方の主観による回答の集計

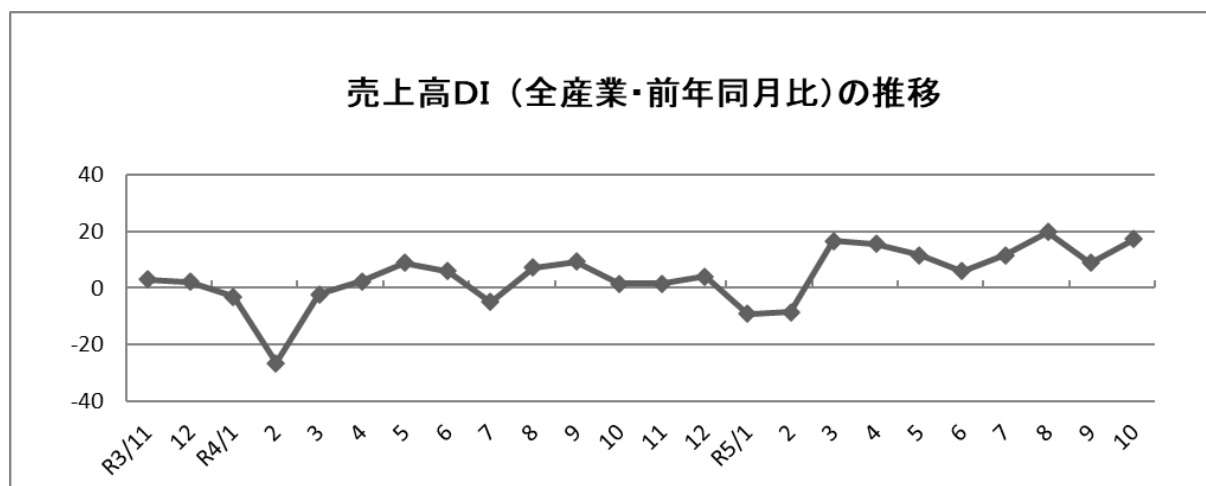


2. 売上高DI（前年同月比）

○全産業合計の売上高DIは、前月(8.8)より8.5ポイント上昇して、17.3となった。業種別に見ると、製造業・サービス業はプラス幅が拡大し、飲食業はプラスのまま横ばいであった。小売業はマイナスからプラスへ転じ、建設業はマイナス幅が縮小した。卸売業はマイナス幅が拡大した。

【対前年同月比売上高業種別DIの推移】

	R4年10月	11月	12月	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
全 体	1.6	1.6	4.0	▲ 9.2	▲ 8.4	16.6	15.5	11.7	6.0	11.6	19.7	8.8	17.3
建 設 業	▲ 20.0	5.0	▲ 25.0	▲ 15.8	▲ 27.7	▲ 10.6	▲ 29.4	▲ 31.5	0.0	▲ 23.5	▲ 27.7	▲ 17.6	▲ 5.9
製 造 業	0.0	▲ 5.0	11.1	▲ 5.5	▲ 11.7	5	30.0	5.5	26.3	15.7	5.5	6.7	11.1
卸 売 業	9.1	27.3	17	22.2	0.0	33.3	▲ 12.5	0.0	12.5	8	9.1	▲ 8.3	▲ 9
小 売 業	4.8	4.8	4	▲ 39.2	▲ 13.6	39.2	4.8	30.4	▲ 4.5	8.3	40.0	▲ 15.0	14.3
飲 食 業	30.8	▲ 6.6	7.2	23.1	▲ 23.1	33.4	25.0	53.8	16.7	53.8	64.3	64.3	64.3
サービス業	0.0	▲ 2.7	10.5	▲ 7.9	8.3	15	36.9	13.5	0.0	13.9	25.0	19.4	22.5

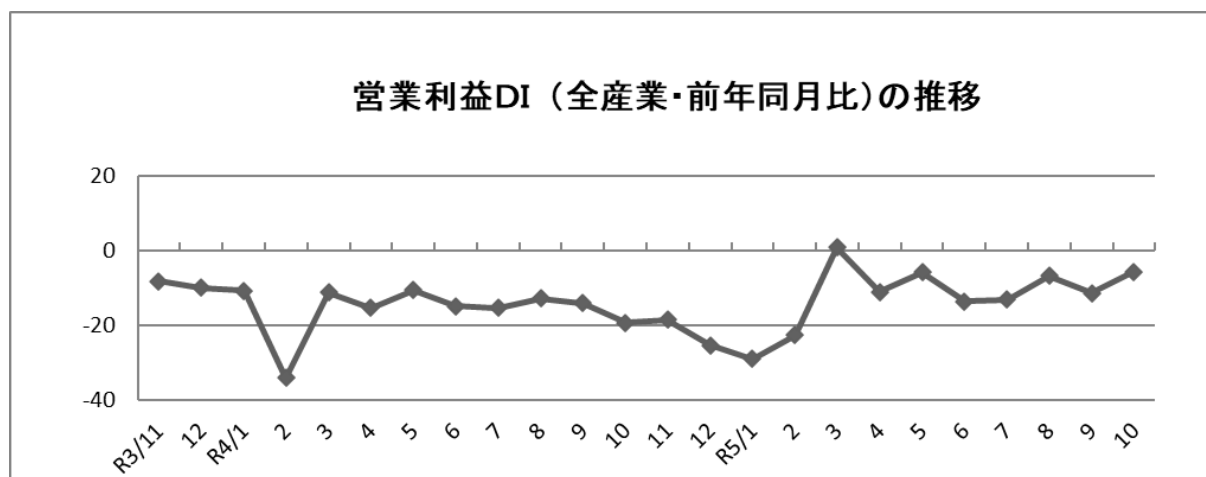


3. 営業利益DI（前年同月比）

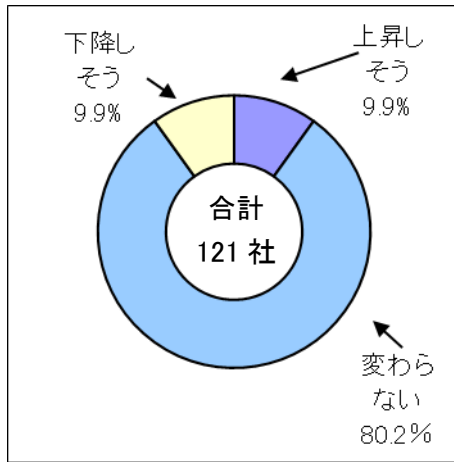
○全産業合計の営業利益DIは、前月(▲11.4)より5.6ポイント上昇して、▲5.8となった。サービス業はプラス幅が拡大し、飲食業は0からプラスへ転じた。小売業・建設業はマイナス幅が縮小し、卸売業・製造業はマイナス幅が拡大した。

【対前年同月比営業利益業種別DIの推移】

	R4年10月	11月	12月	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
全 体	▲ 19.4	▲ 18.5	▲ 25.4	▲ 29.1	▲ 22.7	0.8	▲ 11.2	▲ 5.9	▲ 13.6	▲ 13.2	▲ 6.8	▲ 11.4	▲ 5.8
建 設 業	▲ 15.0	▲ 10.0	▲ 45.0	▲ 21.1	▲ 33.3	▲ 15.8	▲ 35.3	▲ 36.8	▲ 20.0	▲ 29.4	▲ 38.8	▲ 29.4	▲ 17.6
製 造 業	▲ 36.9	▲ 35.0	▲ 61.1	▲ 50.0	▲ 35.3	▲ 10.0	▲ 10.0	▲ 16.7	▲ 15.8	▲ 26.3	▲ 33.4	▲ 13.3	▲ 27.7
卸 売 業	▲ 18.2	▲ 18.2	▲ 25.0	▲ 11.1	▲ 23.1	11.1	▲ 25.0	▲ 40.0	0.0	0.0	▲ 18.2	▲ 16.7	▲ 27.2
小 売 業	▲ 28.6	▲ 9.6	▲ 12.5	▲ 52.2	▲ 13.7	17.4	▲ 23.8	26.1	▲ 18.2	▲ 12.5	5.0	▲ 30.0	▲ 14.3
飲 食 業	▲ 30.8	▲ 26.7	▲ 28.6	▲ 30.8	▲ 38.4	▲ 22.2	▲ 16.7	0.0	▲ 16.6	▲ 7.7	28.6	0.0	14
サービス業	▲ 5.0	▲ 16.2	▲ 5.2	▲ 13	▲ 11.1	7.5	10.5	2.7	▲ 8.1	▲ 5.6	5.5	5.5	12.5



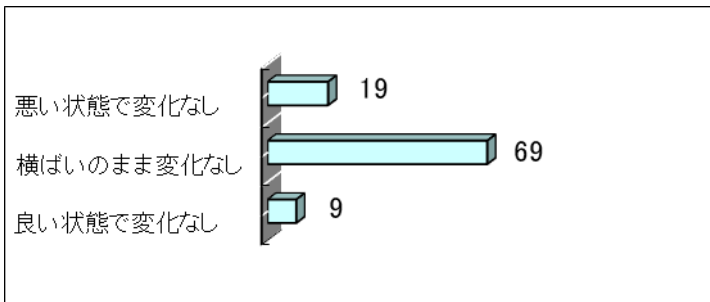
◇ 向こう3カ月の見通し ◇



○令和5年11月～令和6年1月の見通しDIは、「上昇しそう」が前月の調査に比べ2.0ポイント増え9.9%、「下降しそう」が2.2ポイント増え9.9%となった。業種別の見通しDIは建設業(0.0)、製造業(16.6)、卸売業(▲18.2)、小売業(▲19.0)、飲食業(14.3)、サービス業(2.5)であった。

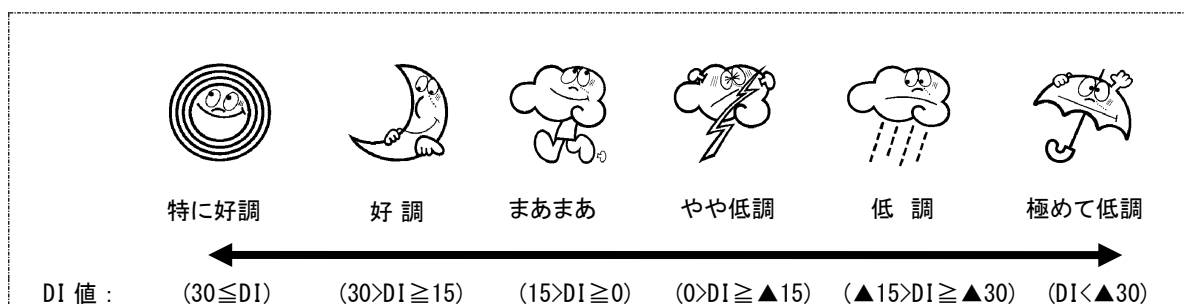
➡「上昇しそう」では「新築物件が出てくるため」(建設業)「11月、12月は繁忙期のため」(航空機関連の受注が増加しているため)「受注増が見込めるため」(製造業)「受注好調のため」(卸売業)「宴会シーズンになるため」(秋の観光シーズンその後の忘年会シーズン到来のため) (飲食業)「システム再構築の案件があり月々の回収が見込めるため」(顧客が増加しているため)「1年間使えなかった風呂施設をリニューアルし通常の営業モードに戻るため」(サービス業)といった声が寄せられた。

➡「下降しそう」では「仕事量が少ないため」(建設業)「販売先の生産計画減少のため」(製造業)「今後も仕入先が価格改定予定になっているため」(卸売業)「観光シーズンが終わったことによる注文減少のため」(冬場に入り観光客が減るため)「受注量の目減りのため」(小売業)「閑散期となるため」(サービス業)といった声が寄せられた。

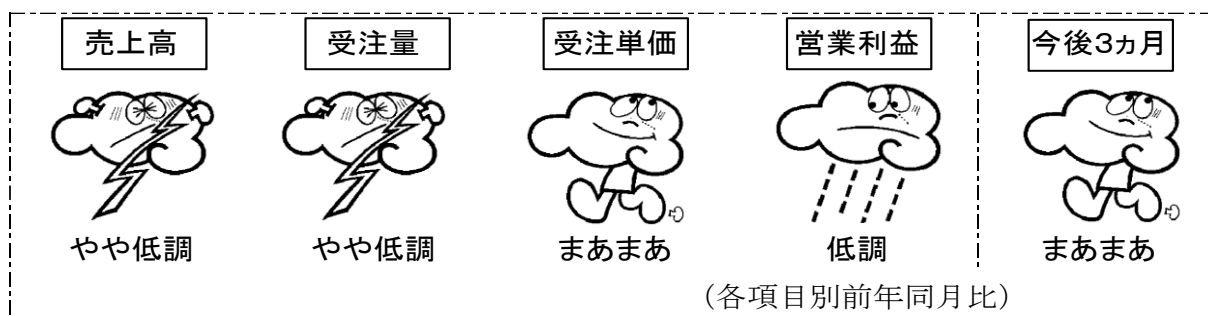


業種別景況

<DI | 君の景況判断>



1. 建設業



【項目別DIの推移】

	R4年10月	11月	12月	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
売上高	▲ 20.0	5.0	▲ 25.0	▲ 15.8	▲ 27.7	▲ 10.6	▲ 29.4	▲ 31.5	0.0	▲ 23.5	▲ 27.7	▲ 17.6	▲ 5.9
受注量	10.0	0.0	▲ 30.0	▲ 21.0	▲ 27.8	▲ 21.0	▲ 23.5	▲ 21.1	▲ 15.0	▲ 35.3	▲ 16.7	▲ 11.7	▲ 5.8
受注単価	▲ 15.0	0.0	▲ 5.0	▲ 5.3	▲ 16.7	▲ 5.2	0.0	▲ 10.5	0.0	▲ 5.9	5.6	5.9	5.9
営業利益	▲ 15.0	▲ 10.0	▲ 45.0	▲ 21.1	▲ 33.3	▲ 15.8	▲ 35.3	▲ 36.8	▲ 20.0	▲ 29.4	▲ 38.8	▲ 29.4	▲ 17.6
見通し	0.0	▲ 10.0	▲ 5.0	▲ 5.2	▲ 5.5	0.0	5.9	5.3	5.0	5.9	5.5	5.9	0.0

<経営者の目・見方・etc>

電気工事

・若手の力を要しているという声を聞くことが多い。

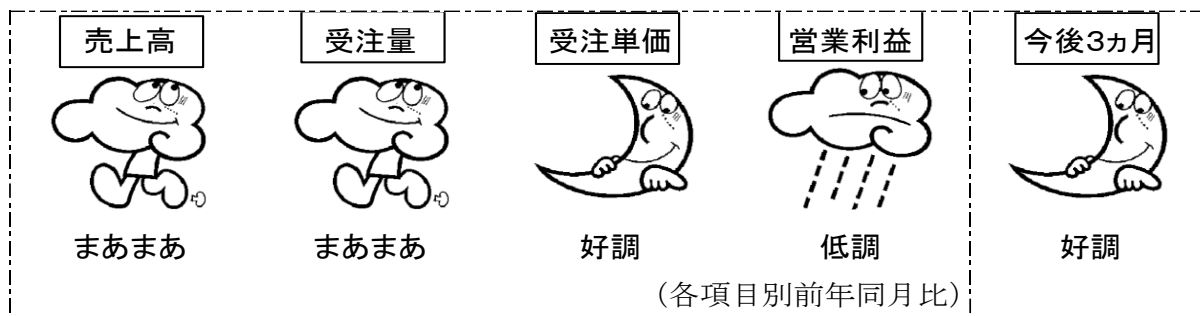
総合建設

・長野県は9月補正で約100億円の公共予算を組み、その内県単独分を47億円組んだ。その結果、大型工事ではなく小規模の工事が発注され、小さな会社にも仕事がいきわたりそうだ。

鉄工

・業者間でばらつきが出ている。

2. 製造業



【項目別DIの推移】

	R4年10月	11月	12月	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
売上高	0.0	▲ 5.0	11.1	▲ 5.5	▲ 11.7	5.0	30.0	5.5	26.3	15.7	5.5	6.7	11.1
受注量	▲ 15.8	▲ 5.0	▲ 16.6	▲ 27.8	▲ 11.7	▲ 5.0	5.0	5.6	5.3	▲ 5.3	5.5	0.0	0.0
受注単価	21.1	20.0	11.1	16.6	23.5	10.0	25.0	16.6	21.0	26.3	16.7	▲ 6.7	16.7
営業利益	▲ 36.9	▲ 35.0	▲ 61.1	▲ 50.0	▲ 35.3	▲ 10.0	▲ 10.0	▲ 16.7	▲ 15.8	▲ 26.3	▲ 33.4	▲ 13.3	▲ 27.7
見通し	0.0	▲ 5.0	▲ 27.7	22.2	0.0	▲ 25.0	▲ 15.0	5.5	▲ 15.8	▲ 5.2	16.6	0.0	16.6

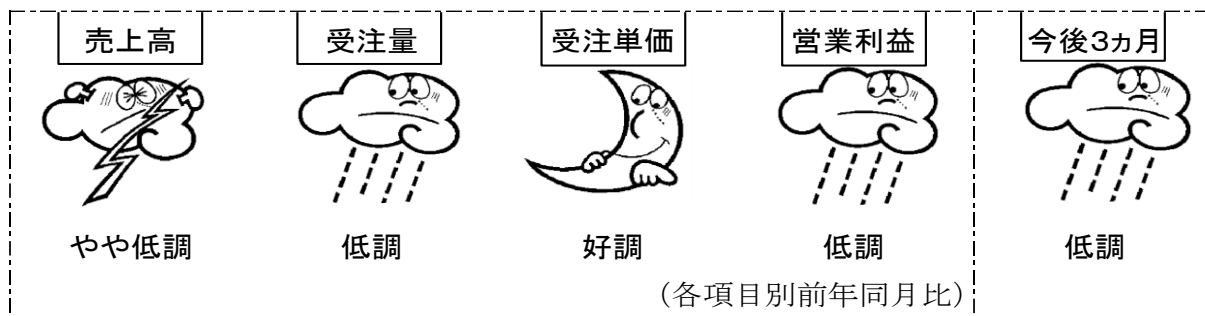
<経営者の目・見方・e t c >

精密機器組立
プラスチック製品製造業

小型情報機器組立
金属塗装
印刷

- ・最低賃金が大幅に上がっているので今後は値上げ交渉を実施する。
- ・航空機業界はコロナ禍を脱し回復基調。防衛や宇宙関連の予算増も良化要因である。設備関連は中国の停滞があり、今しばらく苦戦が続く見込みである。
- ・先が見えない。在庫調整が必要。
- ・塗装の受注が多過ぎて、納期対応に追われている。銘板の受注が少ない。
- ・8月に海外観光客について触れたが、依然として物販、サービスともせつかく円安の影響で国内の物、事を安く購入できるにも関わらず、買ってもらこちら側がごく一部でしか高く儲けられる売り方やVIP価格設定できておらず、売り損ねや稼ぎ損ねをしているように思われる。海外観光客にまでデフレマインド的販売の仕方をしては、せつかく向こうは日本に來ただけで財布の紐が緩んでいるというのに、みすみす取り逃し、地域経済循環し損ねているような状況になってはいないだろうか。

3. 卸売業



【項目別DIの推移】

	R4年10月	11月	12月	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
売上高	9.1	27.3	16.7	22.2	0.0	33.3	▲12.5	0.0	12.5	8.3	9.1	▲8.3	▲9.1
販売客数	9.1	▲9.1	0.0	0.0	▲7.7	11.1	▲25.0	▲10.0	12.5	▲8.4	▲18.2	▲25.0	▲27.3
販売客単価	36.4	18.2	8.4	22.2	0.0	33.3	0.0	10.0	12.5	25.0	27.3	8.3	18.2
営業利益	▲18.2	▲18.2	▲25.0	▲11.1	▲23.1	11.1	▲25.0	▲40.0	0.0	0.0	▲18.2	▲16.7	▲27.2
見通し	▲18.2	▲18.2	▲16.7	0.0	▲7.7	0.0	12.5	▲10.0	0.0	0.0	▲9.1	▲33.3	▲18.2

<経営者の目・見方・e t c>

魚介類

・観光需要が売上貢献した。今後は忘新年会の盛り上げに期待する。

自転車

・今後も仕入先が価格改定予定になっている。冬の商材のためには早く雪が降ってほしい。

土産品

・秋の行楽シーズンとなり、インバウンド含め多くの観光客が増え、売上も好調に推移している。

金属製品

・自動車の一部では生産回復兆しの話となっているが、流通や末端業者までは浸透していない。高炉は経費アップを見越したもう一段の価格改訂の考えを持っている。

木材・建材

・取引先の資本提携や、廃業の動きが散見されており、販売先細りが懸念される。

4. 小売業



【項目別DIの推移】

	R4年10月	11月	12月	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
売上高	4.8	4.8	4.2	▲39.2	▲13.6	39.2	4.8	30.4	▲4.5	8.3	40.0	▲15.0	14.3
販売客数	0.0	▲4.8	▲4.1	▲39.1	0.0	4.4	▲9.5	17.4	▲9.1	4.1	20.0	▲20.0	9.6
販売客単価	▲4.8	0.0	12.5	▲26.1	13.6	0.0	▲19.1	26.1	9.1	25.0	15.0	▲10.0	▲14.3
営業利益	▲28.6	▲9.6	▲12.5	▲52.2	▲13.7	17.4	▲23.8	26.1	▲18.2	▲12.5	5.0	▲30.0	▲14.3
見通し	▲4.7	9.5	▲16.6	▲8.7	0.0	17.4	▲4.8	0.0	13.7	8.3	0.0	0.0	▲19.0

<経営者の目・見方・etc>

パン

・観光地は集客がかなり良かったようで、卸でいただく注文数が昨年とは比較にならないくらい大幅に上がった。

印章

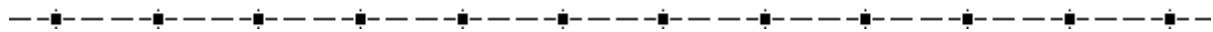
・海外からの観光客がととも増えている。欧州の方々は日本で数週間滞在するので、松本にも足を延ばしてくれているようだ。〇〇な街ランキング等の番組で松本が上位にランクインしている事も観光客が増えている要因だろう。神道祭り、そば祭り等のイベントにも賑わいが戻ってきた。既製品の認印が信じられないくらい売れていない。インボイス制度登録番号関連のゴム印、スタンプは相変わらず受注が好調である。

印章・刃物研ぎ
洋菓子店

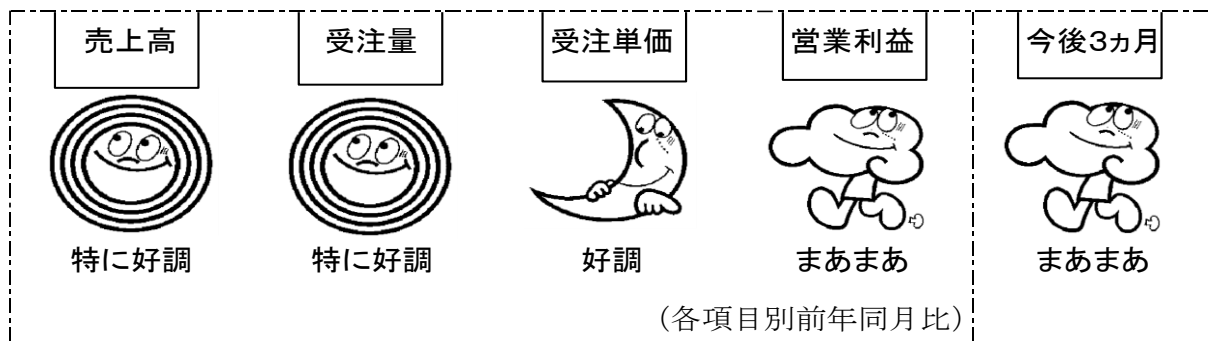
・観光客の入込が目に見えて減り心細い。
・原因はよくわからないが昨年より悪くなった。
・前半は様々な品の値上がりから買い控えがあったように感じるが、後半は例年以上に良かった。クリスマスケーキの締め切りが今年は早い。

生鮮食品

・そば祭り等、街中での催し物があり、観光客も多く郊外店と共に市内の店も良かった。



5. 飲食業



<経営者の目・見方・etc>

【項目別DIの推移】

	R4年10月	11月	12月	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
売上高	30.8	▲ 6.6	7.2	23.1	▲ 23.1	33.4	25.0	53.8	16.7	53.8	64.3	64.3	64.3
販売客数	23.1	0.0	▲ 7.1	23.1	▲ 23.1	55.6	25.0	38.4	25.0	23.1	57.2	57.2	50.0
販売客単価	7.7	13.3	▲ 28.6	7.7	▲ 15.4	0.0	0.0	▲ 7.7	▲ 16.7	23.1	28.6	7.1	28.6
営業利益	▲ 30.8	▲ 26.7	▲ 28.6	▲ 30.8	▲ 38.4	▲ 22.2	▲ 16.7	0.0	▲ 16.6	▲ 7.7	28.6	0.0	14.3
見通し	▲ 7.7	13.3	0.0	0.0	30.8	33.3	25.0	23.1	25.0	0.0	7.2	7.2	14.3

寿司

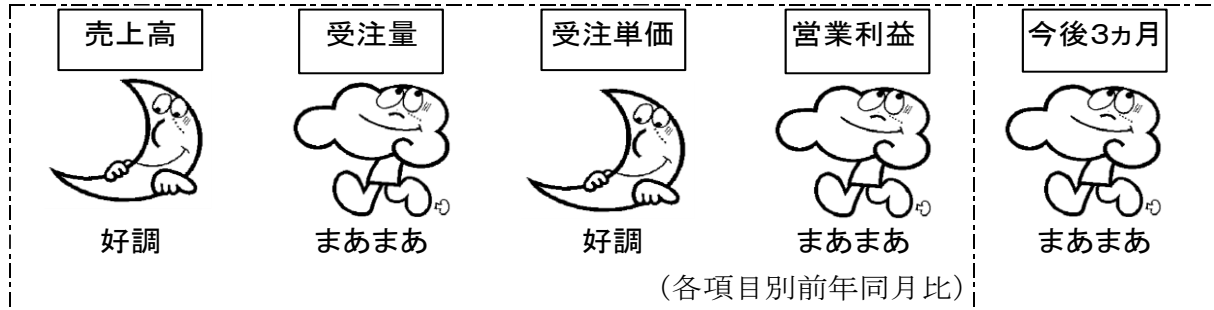
・天候に恵まれたこともあり、各所で人出が多かったように感じる。
・売上は上昇してきているが、諸事情により週4日の営業のため、全体で見ると横ばいである。
・清水の舞台から飛び降りたつもりで十数年ぶりに値上げに踏み切った。お客様の反応が心配であったが、ほとんどの人が理解してくれた。それでも原材料の値上がり幅には追いつかない。

郷土料理
中華料理

・10月はそば祭りや神道祭などイベントが多い。
・市立博物館が開館した。1階がフリースペースのため、市民にも観光客にも良い憩いの場になっていると感じる。10月7日からの3連休はそば祭りやたくさんイベントが開催されて人出が多く賑やかであった。当店で

は最近ないが、予約客のドタキャン、もしくは人数の激減が方々の店
 出ていると聞く。飲食店ばかりが損をする現状を何かしらの対策がない
 かアイデアやアドバイスを各職種の方々からいただきたい。

6. サービス業



【項目別DIの推移】

	R4年10月	11月	12月	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
売上高	0.0	▲ 2.7	10.5	▲ 7.9	8.3	15.0	36.9	13.5	0.0	13.9	25.0	19.4	22.5
販売客数	7.5	5.4	▲ 5.2	▲ 7.9	8.3	2.5	28.9	8.1	0.0	11.1	8.3	11.1	12.5
販売客単価	7.5	10.8	5.2	13.2	11.1	10.0	23.7	10.8	5.4	11.1	19.4	19.4	27.5
営業利益	▲ 5.0	▲ 16.2	▲ 5.2	▲ 13.2	▲ 11.1	7.5	10.5	2.7	▲ 8.1	▲ 5.6	5.5	5.5	12.5
見通し	2.5	▲ 5.4	▲ 5.2	▲ 5.3	8.3	2.5	15.8	10.8	24.3	13.8	13.9	8.3	2.5

<経営者の目・見方・etc>

ソフトウェア

- ・DXとは名ばかり、最新のフレームワークで現行踏襲、本来のシステム化要件とかい離している状況のプロジェクトをよく見かけるようになった。これは、十分なエンジニア教育を経ずに常駐派遣を繰り返す、業界の構造的な問題とも無関係ではないと考える。

旅館

- ・客は徐々に増加傾向だが、毎月仕入価格が上昇し、売上が伸びても利益につながらない。

温泉旅館

- ・観光需要は良好である。
- ・全体的に観光、ビジネス共に増大であった。残念なことは朝夕のタクシーの予約が取れにくく苦慮していることだ。松本はレンタカーも少ないと聞く。
- ・台風もなく山の水不足を除いては天候に恵まれた。入込も順調で、邦人の予約以外に山の雪を見に来る台湾やタイなど東南アジア系のお客様が多かった。相変わらず人手不足のため、100%の営業ができなかった。来年の課題である。

観光旅館

- ・地域全体がとても忙しい様子であった。

宿泊
ホテル

- ・ホテル全般に宿泊、会議、宴会とも好調である。特に宿泊の需要が力強い。
- ・そば祭りが再開された。

獣医

- ・コロナ禍の落ち着きで獣医学関係の学会、大会が3年ぶりに対面で開催されるようになってきた。病院から獣医師、看護師、トリマーを派遣し、本年度は旅費交通費が大幅にアップしそうである。

ホームクリーニング・
リネンサプライ業
タクシー

- ・世界情勢に不安を感じる。今後の光熱費を含めた原油関連費の高騰に歯止めがかからない。
- ・今月からタクシーの初乗り料金が640円から700円への値上げに認可が下りた。

教育業
機械設計
リラクゼーション
不動産賃貸

- ・イベントが増えてきているが活用法があるのか疑問である。
- ・良い状態で推移している。
- ・景気が良いように感じる。
- ・業界変動なし。

